第105回全国高等学校野球選手権記念宮城大会

□大会第12日目　　7 月　22　日 （ 木 ）

準決勝　　楽天生命パーク宮城　　2　時間　18　分

利府	0	0	0		0	0	1		0	0	0		1
仙台城南	0	1	0		0	0	1		0	0	X		2

（　　）

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【利】	30	5	1	0	2	4	7	8	1	0
【仙】	23	3	2	0	6	3	7	6	1	0

（球）　西山　　充　（一）　雁部　博昭　（二）　山舘　浩樹　（三）　曽根　徳明

【利】　小酒井,亀谷,曽我　―　太田

【仙】　安住　―　岡村

▽暴投　小酒井1,亀谷1(利),安住1(仙)　　▽捕逸　なし

▽本塁打　なし

▽三塁打　佐藤龍(仙)

▽二塁打　なし　(利)
なし　(仙)

【　利　府　】		打数	安打	打点
(中)	本田　寛明	4	1	1
(右)	佐藤　聖民	3	1	0
(遊)投遊	亀谷　晋之	4	0	0
(三)	万城目　琳	3	1	0
(一)	渡邉　慶太	4	0	0
(捕)	太田　眞斗	3	1	0
(左)	鈴木　晶礼	2	0	0
打	髙山　誠匠	0	0	0
走左	佐々木　新	0	0	0
打	横田　大輝	1	0	0
(二)	阿部　太翼	3	1	0
(投)	小酒井　凱	1	0	0
遊	鈴木　大和	1	0	0
投	曽我　颯人	0	0	0
打	本多　藍仁	1	0	0

【　仙　台　城　南　】		打数	安打	打点
(右)	佐藤　柊真	3	1	0
(遊)	武藤　就貴	2	0	0
(中)	柿崎　創	3	0	0
(左)	山崎　恭輔	4	0	0
(三)	佐藤　龍翔	4	2	0
(一)	植野　広大	2	0	0
(捕)	岡村　太貴	1	0	1
(二)	池田　柾道	1	0	1
(投)	安住　馨祐	3	0	0

投手名	打数	投球数	投球回数	保持回数	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
小酒井　凱人	12	61	4	0	2	0	3	1	2	2	1	1	0	1	0
亀谷　晋之介	8	43	3	0	1	0	1	1	5	0	0	1	0	1	1
曽我　颯人	3	14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

投手名	打数	投球数	投球回数	保持回数	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
安住　馨祐	30	143	9	0	5	0	2	0	7	2	2	1	0	1	1

【評】

1対0で仙台城南がリードして5回のグラウンド整備。利府が4回、ライト佐藤賢がファインプレー。5回、イニング途中に投手交代した亀谷が連続三振を取って、利府が盛り返してきた。両チームの持ち味を出した前半後半のドラマを予想させた。

6回表利府は先頭阿部の安打に始まって、犠打、1番本田の適時打で同点。さらに犠打で進めて二死三塁にしたが後続が抑えられた。

利府を1点に抑えた城南の守備。6回二死二塁の一塁左へのゴロを好捕、投手への送球も捕球も完璧にプレーした。8回には1死二三塁から三振をとり、申告敬遠の後、投手への強いゴロがグラブに当たってセカンドへ、諦めずに一塁へ送球。こういう1つ１つのアウトが城南を勝利に近づけた。

城南は2回に一死二三塁で8番池田がレフトに犠飛、同点の6回には1死三塁で7番岡村がレフトに犠飛で2点目。攻撃陣はヒット3本での2点だった.

先発完投の安住の投球は後半まで力を失わずマウンドでも安定していた。守備も投手を支えてつかんだ勝利。準決勝で会心のゲームをした。